

職員の皆さんへ

去る4月14日夜から発生した熊本地震は、発災から2週間を過ぎた5月1日に地震回数が大小合わせて遂に1100回を超える事態となり熊本・大分両県に甚大な被害をもたらす続けており、政府においても激甚災害を適用するなどさらに深刻な様相を呈しています。

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げ、一刻も早い復興を祈念いたします。

平戸市としましては、同日未明に消防職員と水道局職員をそれぞれ派遣し、これに続く形で救援活動や給水活動、支援物資の配送活動など切れ目なく関係職員各位によって献身的かつ適切な対応を行なっていただきました。

また先日夕刻のNHKテレビ番組でも報道されたように、ふるさと納税制度活用や市の出先機関および各種イベントにおいて募金活動を行うなど幅広い支援活動についても、率先して取り組むなど大変心強く頼もしさを実感しました。日頃から「九州は一つ」を合言葉に自治体間の連携や広域的な施策展開或いは産業振興など共通の課題に取り組んできたこともあって、こうした大規模災害の相互支援において底力が発揮できたことを嬉しく思います。

被災地から戻った職員の報告によると、円滑に運営がなされている避難所では、すでに自主防災組織が一定の役割を果たしており、地域防災士など特定のリーダーによる指導にのっとり、支えあう機能が発揮されていたことを確認できました。

一方で今回の地震災害は、九州全域の観光産業にも深刻な影を落とすつつあります。その影響を受けてすでに本市内のホテル予約のキャンセルが5月末までに5千件近くになるなど、これまでにない深刻な間接被害をもたらしています。

「平戸藩の春めぐり」はすでに中盤を過ぎましたが、ゴールデンウィーク後半の「いきつき春まつり」や「平戸海道渡海人まつり」、そして志々伎漁港でのお魚まつりや津吉茶市や中津良ほたるまつりなどたくさんの魅力あるイベントが控えていますので、相互連携を図りながら交流人口拡大や宿泊客の増加に官民一体となって取り組んでいかなければなりません。

本市はすでに全ての自治会において自主防災組織化が実現していますが、こうした自助共助機能は地域にとって必要不可欠の組織であり、改めてその重要性を認識しました。同時に、「支えあうこと」と「もたれあうこと」の違いを強く意識させられました。「支えあうこと」とは、一つひとつの構成要素が固有の自立する力を持って他の力と共鳴連携していくことであり、「もたれあうこと」は単に誰かの力に寄り添う依存でしかありません。

このことはあらゆる組織でも同じことが言えます。自分の役割をきちんと理解し、上司と部下間の連携を良好に保ち続けながら、全体をどのように支え、

目的に向かおうとしているかが試されます。

一般論ではありますが、他人を攻め自分の責任や義務を回避し、いつも何かにもたれかかっているようでは、その組織はいずれつぶされていくでしょう。

「支えあう」ためには、前後左右に存在するパートナーを信頼し、同じ目的意識を確認しながら自立し続けていく覚悟が不可欠であり、その繰り返しが組織自体の持続可能性を蓄積していくこととなります。

自然の猛威は、人間の力・営みをはるかに凌ぐ凄まじいパワーがあり、毎年起こる災害というものに無力感を感じ、その悲劇に心悩まされ不安を抱きますが、それはある意味、この国で生きていく試練でもあります。英知を結集し、難関を乗り越えるために努力を重ねていくことが将来世代への「生きていく知恵」の集積につながります。

このふるさとに、この時代に生まれてきたことは「運命」として、その偶発性を理由付けたりしますが、考え方を換えれば、ひょっとしてあらゆる出会いは偶然ではなくて、必然なのかもしれません。ここに生きる意味、今を生きる意味を今一度、胸に手を当て考える機会なのではないでしょうか。

新年度が始まってあっという間の一ヶ月ですが、平戸市総合戦略に基づいた事業が具体的に実践され、その成果を市民の皆様とともに共有していかなければなりません。私たちに日々の歩みを止める余裕などないはずです。

今月もまた職員一丸となってさらに「計画→実行→検証→改善」のサイクルを常に意識しながら、積極果敢に業務に励んでくださることを期待します。

今月のメッセージは、あえて紙面の殆んどを、いまもなお揺れ続け、いつ終息するか予測さえ困難視されている熊本地震に関連した内容としました。

5月からクールビズの装いになりますが、まさに爽快感あふれる行政マンとして市民に親しまれ信頼されるよう誠意と熱意をもってそれぞれの業務に精進していただきたいと思います。

今月も、ふるさと平戸市のさらなる発展のために、思いっきりエネルギーに頑張らしましょう！

平成 28 年 5 月 2 日

平戸市長 黒 田 成 彦